



## 平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 東大

上場会社名 伊藤ハム株式会社

コード番号 2284 URL <http://www.itoham.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 堀尾 守

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 石井 隆

TEL 0798-66-1231

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	350,744	△2.1	5,204	34.3	6,343	27.4	4,160	△31.5
23年3月期第3四半期	358,406	1.2	3,875	△19.9	4,978	△17.2	6,073	49.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 4,192百万円 (△7.1%) 23年3月期第3四半期 4,514百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	17.27	17.26
23年3月期第3四半期	24.85	24.83

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	213,514	119,193	55.6
23年3月期	204,557	116,729	56.7

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 118,620百万円 23年3月期 116,000百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	3.00	3.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	448,000	△1.8	3,400	37.0	4,800	25.5	1,900	296.8	7.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(平成24年2月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 一社 (社名) 、除外 1社 (社名) 宝永物産株式会社

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	247,482,533 株	23年3月期	247,482,533 株
24年3月期3Q	9,221,215 株	23年3月期	6,523,116 株
24年3月期3Q	240,895,875 株	23年3月期3Q	244,424,112 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、リスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レート、獣疫などの様々な要因により、予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
平成24年3月期第3四半期	350,744	5,204	6,343	4,160	17.27
平成23年3月期第3四半期	358,406	3,875	4,978	6,073	24.85
増減率	△ 2.1%	34.3%	27.4%	△ 31.5%	△ 30.5%

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～12月31日)のわが国経済は、東日本大震災による大幅な落ち込みから供給面の改善を支えに緩やかな回復を続けてきましたが、欧州債務問題の深刻化や成長の牽引役であった新興国経済にも陰りが見え始めており、歴史的な円高水準が続く中で景気の先行きは予断を許さない状況となりました。

当業界におきましても、震災後の消費マインドは徐々に改善されつつありましたが、食中毒事件や放射性セシウムによる肉牛の汚染問題により食肉の販売環境が悪化したことなど、当社事業を取り巻く環境は大変厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、今後5年間の経営の基本方針となる新中期経営計画「CNV2015」(平成23年1月31日公表)に基づいて、その基本戦略である「構造改革」と「成長戦略」の実行に取り組んでおります。初年度となる当期においては、上期には希望退職の実施や船橋工場閉鎖等の生産拠点の再編、下期には、加工食品事業における製販一体の地域子会社、物流機能並びに業務支援機能のグループ再編や人事制度改革など、構造改革に重点を置いた施策を着実に実行し、より強い筋肉質の企業体質の構築と業績目標の達成に向けて全社一丸となって取り組んでおります。また、成長戦略におきましても、食肉子会社サンキョーミート(株)の生産設備の増強等による食肉バリューチェーンの拡大を推し進めるとともに、中国の中糧集团有限公司(COFCO)との合弁会社に参画するなど中国市場への本格的進出にも着手しました。

当第3四半期の連結業績につきましては、売上高は、中元・歳暮ギフトが低迷する中でハム・ソーセージの売上が前年同期に比べて増加しましたが、「CNV2015」の実行に伴う不採算商品の撤退・縮小や惣菜子会社の売却により調理加工食品の売上が大幅に減少したことや、食肉においては鶏肉の販売が伸びる一方で国産牛肉の売上がセシウム問題等による需要低迷を受けて減少したことから、全体としては前年同期より76億6千1百万円減少して3,507億4千4百万円(前年同期比2.1%減)となりました。利益面については、惣菜子会社の売却、中元・歳暮ギフトの不振、加工食品の原材料価格の高騰並びに鶏肉の収益性悪化等により売上総利益が減少しましたが、営業利益は、構造改革を着実に実行したことに伴うコスト削減効果により前年同期に比べて13億2千8百万円増加して52億4百万円(前年同期比34.3%増)、経常利益は、前年同期に比べて13億6千5百万円増加して63億4千3百万円(前年同期比27.4%増)となりました。四半期純利益については、前期特別利益に計上した土地の売却益がなくなった影響により、前年同期より19億1千2百万円減少して41億6千万円(前年同期比31.5%減)となりました。

報告セグメント別の内訳につきましては、加工食品事業本部は、外部売上高1,855億8千7百万円(前年同期比2.6%減)、営業利益46億9千1百万円(前年同期比57.1%増)、食肉事業本部は、外部売上高1,647億3千8百万円(前年同期比1.5%減)、営業利益4億1千9百万円(前年同期比41.7%減)となりました。なお、当社(親会社)の本部及び間接部門に係る費用等の全社費用については、前連結会計年度まで各報告セグメントへ配賦しておりませんでした。経営管理の手法を見直した結果、当連結会計年度より各報告セグメントに配賦する方法に変更しております。これに伴い、前年同期のセグメント利益についても変更後の算定方法により組み替えております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## 〔資産、負債及び純資産の状況〕

当第3四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べて89億5千7百万円増加し、2,135億1千4百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少、原材料及び貯蔵品の減少、季節要因による受取手形及び売掛金の増加、有価証券（短期運用預金）の増加並びに投資有価証券の増加によるものであります。なお、投資有価証券の増加の主なもの、中国最大の食糧関連国有企業である中糧集团有限公司（COFCO）の食肉事業への資本参加を目的として設立した当社、三菱商事株式会社、米久株式会社の3社による合弁会社であるMIY株式会社への出資によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて64億9千2百万円増加し、943億2千万円となりました。これは主に、長期借入金の増加によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて24億6千4百万円増加し、1,191億9千3百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加及び自己株式の取得によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、当第3四半期の業績及び今後の見通しを勘案し、平成23年5月13日に公表した数値を下方修正いたしました。修正後の通期連結業績は、売上高4,480億円、営業利益34億円、経常利益48億円、当期純利益19億円を見込んでおります。

詳細につきましては、本日（平成24年2月8日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間において、当社の完全子会社かつ特定子会社である宝永物産株式会社は、平成23年6月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により解散したため、連結の範囲から除外しております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## （税金費用の計算）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	35,027	11,602
受取手形及び売掛金	43,570	71,658
有価証券	—	4,749
商品及び製品	22,671	23,758
仕掛品	393	262
原材料及び貯蔵品	13,848	9,699
その他	4,425	5,474
貸倒引当金	△159	△251
流動資産合計	119,777	126,953
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	16,348	16,575
機械装置及び運搬具(純額)	12,510	12,054
工具、器具及び備品(純額)	678	657
土地	18,426	18,038
リース資産(純額)	1,437	1,283
建設仮勘定	484	91
有形固定資産合計	49,885	48,702
無形固定資産		
その他	1,330	1,194
無形固定資産合計	1,330	1,194
投資その他の資産		
投資有価証券	20,635	23,833
その他	13,752	13,679
貸倒引当金	△824	△847
投資その他の資産合計	33,563	36,665
固定資産合計	84,779	86,561
資産合計	204,557	213,514

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,021	40,749
短期借入金	947	1,277
1年内償還予定の社債	—	10,000
未払法人税等	822	1,039
賞与引当金	2,172	1,296
資産除去債務	4	—
その他	15,860	18,541
流動負債合計	61,828	72,905
固定負債		
社債	10,000	—
長期借入金	10,992	17,090
退職給付引当金	142	300
債務保証損失引当金	375	375
資産除去債務	759	795
負ののれん	14	9
その他	3,714	2,844
固定負債合計	25,999	21,415
負債合計	87,827	94,320
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,427	28,427
資本剰余金	30,042	30,047
利益剰余金	59,778	63,216
自己株式	△2,133	△2,942
株主資本合計	116,115	118,748
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,862	2,073
繰延ヘッジ損益	44	△52
為替換算調整勘定	△2,021	△2,150
その他の包括利益累計額合計	△114	△128
新株予約権	82	60
少数株主持分	646	513
純資産合計	116,729	119,193
負債純資産合計	204,557	213,514

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	358,406	350,744
売上原価	283,463	281,633
売上総利益	74,942	69,111
販売費及び一般管理費	71,066	63,906
営業利益	3,875	5,204
営業外収益		
受取利息	90	83
受取配当金	240	239
負ののれん償却額	5	5
持分法による投資利益	660	453
受取賃貸料	405	352
その他	420	524
営業外収益合計	1,822	1,657
営業外費用		
支払利息	434	215
不動産賃貸費用	177	150
その他	107	152
営業外費用合計	719	518
経常利益	4,978	6,343
特別利益		
固定資産売却益	3,581	56
投資有価証券売却益	568	125
負ののれん発生益	—	38
災害による損失戻入額	—	166
その他	133	7
特別利益合計	4,284	394
特別損失		
固定資産売却損	270	176
固定資産除却損	241	240
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	535	—
事業整理損	732	—
事業構造改革費用	—	981
その他	40	73
特別損失合計	1,821	1,471
税金等調整前四半期純利益	7,441	5,266
法人税等	1,289	1,060
少数株主損益調整前四半期純利益	6,151	4,205
少数株主利益	78	45
四半期純利益	6,073	4,160

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,151	4,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△883	211
繰延ヘッジ損益	△327	△96
為替換算調整勘定	275	△254
持分法適用会社に対する持分相当額	△700	125
その他の包括利益合計	△1,636	△13
四半期包括利益	4,514	4,192
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,440	4,146
少数株主に係る四半期包括利益	74	45

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業本部	食 肉 事業本部	計				
売上高							
外部顧客への売上高	190,583	167,298	357,881	524	358,406	—	358,406
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,651	58,327	60,978	1,840	62,819	△62,819	—
計	193,234	225,625	418,860	2,365	421,225	△62,819	358,406
セグメント利益	2,985	719	3,704	167	3,871	3	3,875

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣業及び保険代理店業であります。
2. セグメント利益の調整額は、たな卸資産の調整額等であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 平成23年4月1日開始の連結会計年度より、セグメント利益の算定方法を変更したことに伴って、前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）のセグメント利益を変更後の算定方法による数値に組み替えて表示しております。これにより、従来の算定方法によった場合に比べて、加工食品事業本部において3,172百万円、食肉事業本部において937百万円それぞれセグメント利益が減少しております。算定方法の変更内容につきましては、「Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日） 2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

## II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	加工食品 事業本部	食 肉 事業本部	計				
売上高							
外部顧客への売上高	185,587	164,738	350,326	418	350,744	—	350,744
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,126	52,148	54,274	1,137	55,412	△55,412	—
計	187,713	216,887	404,601	1,556	406,157	△55,412	350,744
セグメント利益	4,691	419	5,110	136	5,247	△42	5,204

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材派遣業及び保険代理店業等であります。
2. セグメント利益の調整額は、たな卸資産の調整額等であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更)

当社（親会社）の本部及び間接部門に係る費用等の全社費用については、前連結会計年度まで各報告セグメントへの配賦を行っていませんでしたが、経営管理の手法を見直した結果、当連結会計年度より各報告セグメントへ配賦する方法に変更しております。この変更に伴う前第3四半期連結累計期間の組み替え後の数値及び影響額につきましては、「Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

## 【関連情報】

商品分類別の売上高

(百万円)

(% )

	前第3四半期	当第3四半期	増 減	増減率
	自平成22年4月1日 至平成22年12月31日	自平成23年4月1日 至平成23年12月31日		
ハム・ソーセージ	99,521	99,725	204	0.2
食 肉	181,745	178,766	△ 2,978	△ 1.6
調理加工食品ほか	77,139	72,252	△ 4,887	△ 6.3
合 計	358,406	350,744	△ 7,661	△ 2.1

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。